

お わ り に

本校は、これまで、一人一人の児童生徒の障害に応じた、より一層の教育の充実をめざして、大学・学部との連携を中心としながら、実証的研究とその成果を公開してきました。

しかし、近年、児童生徒の障害の多様化が進み、学級経営や進路指導上の問題等が大きく浮かび上がってきました。特に、一人一人の的確な実態の把握はもちろんのこと、保護者の要望や社会の変化に対応した教育課題の明確化を求める声が、各学部の実践の中から強く聞かれるようになり、個別の指導計画の整備と教育課程の改善が必要となってきました。

こうした本校の実情から、児童生徒一人一人の教育的ニーズを大切に、自ら生活に生かすことができる教育を支援・実施することとしました。そして、子供や保護者の意見・要望等を聞くこと、子供の的確な教育的ニーズの分析と指導目標、指導内容・方法を保護者と共通に理解すること、本校教育に対する教育関係者等第三者の意見を聞くことを大切にしながら、個別の指導計画作成を中心に据えた研究に平成10年度から取り組んできました。小学部は生活単元学習を、中学部は国語科を、高等部は作業学習を、それぞれ研究課題として取り組み、その経過を報告いたしました。

こうしたことから、今回の研究協議会は、平成14年度からの新しい学習指導要領に沿った本校の教育課程を、より確かなものにするために、教育関係者等の御意見・御指導をいただきたいと念じて、本校では初めての試みとして計画しました。御参加いただきました先進校の先生方に忌憚のない御支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。また、御多忙な中、今後の本校教育と研究に多くの御教示をいただきました帝京大学の大南英明先生はじめ、各分科会で終始御指導・御助言をいただきました先生方、ならびにシンポジストの各位に対しまして、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層の御指導をお願いいたします。

研究同人一同

研 究 同 人		
校 長 久 留 一 郎	副 校 長 内 野 興 一 郎	教 頭 中 村 良 一
【小 学 部】	【中 学 部】	【高 等 部】
西 昭 人	中 村 豊 隆	福 山 憲 治
肥 口 美 代 子	福 田 雅 紀	橋 脇 清 美
釘 田 雅 司	河 野 通 堯	五 反 田 勝
濱 崎 信 一	奥 政 治	福 田 展 大
木 戸 ル リ 子	藤 上 実 紀	日 高 正 人
井 上 隆 司	寺 脇 忠 司	小 山 浩 平
有 田 研 二	満 尾 泰 浩	倉 内 隆
塩 屋 敦 子	中 村 香 苗	西 村 礼 子
西 田 恵 子		坂 元 綾
【転出】 前 岡 昌 利	山 口 敏 親	山 川 博 巨
久 永 み どり	稲 留 信 枝	本 田 弘 子